

第11号

ふれあいネットワーク

社協だより

平成22年12月15日発行

平川市社協基本理念

『地域の人たちと共に考え、共に築き、共に歩む福祉社会を目指します』



社会福祉法人 平川市社会福祉協議会

編集
と
発行

- 事務局
平川市柏木町藤山16-1
(平川市健康センター内)
TEL44-5937 FAX44-4574
URL:<http://www.hirasyakyo.org/>
- 尾上事業所
平川市猿賀南田96-3
(平川市尾上地域福祉センター内)
TEL57-5311 FAX57-5313
- 碓ヶ関事業所
平川市碓ヶ関三笠山120-1
(平川市碓ヶ関地域福祉センター内)
TEL45-2725 FAX45-2782

平成22年11月1日の山の上・高田町会合同地域福祉懇談会を皮切りに事前のアンケートにより希望された23の町会において、地域福祉懇談会を開催しております。地域福祉懇談会では、町会単位における福祉についての課題や要望に関して懇談し、地域住民が安心して暮らせる地域作りのために共に考える場としております。



この広報紙は皆様の会費と赤い羽根共同募金の配分金で作成されました。



地域福祉懇談会を開催しております！

平川市社会福祉協議会では、「地域の人たちと共に考え、共に築き、共に歩む福祉社会を目指します」という基本理念を職員全員で作り上げ、日々の業務に取り組んでおります。その理念を実現するためには、「地域の人たちと共に」という部分が最も重要であり、社協の根底となっている部分でもあります。

そこで、地域住民の方々より地域の課題や要望をお聞きし、共に考える場として地域福祉懇談会を開催しております。又、併せて福祉情報の提供及び社協を知ってもらう機会としても捉えております。

すでに開催済みの町会もございますが、これから開催される地域の懇談会へ近隣の皆様は、ご参加下さいますようお願いいたします。

● 開催にあたり

町会単位での地域福祉懇談会の開催にあたりましては、市内全68町会の町会長さん方に事前のアンケート調査を行っております。その後の日程調整を経て、今年度におきましては開催を希望した23町会において地域福祉懇談会を開催することとなりました。

● 地域福祉懇談会の内容

懇談会の前段では、下記の説明を行い、その説明を切り口に自由に懇談する中で、参加者と意見交換を行います。懇談の内容は、説明の内容に捉われるものではなく、町会の福祉（生活）に関連する話題であれば何でも結構です。今年度の懇談会では、沢山の意見や課題を出していただくことが目的であり、今後は、懇談会で出された意見を整理し、その中から題材を絞り込んで具体的な協議ができればと考えております。

参集者は、開催町会の住民であれば、どなたでも参加できます。また、会場の都合上、事前に社協へ申込みが必要となりますが、開催を予定していない近隣町会の関係者も参加できます。

ぜひ、皆様の福祉（地域）に対する熱い思いをお聞かせ下さい。

テーマ 「地域の人たちと共に考え、共に築き、共に歩む福祉社会を目指します」

- 説 明
- (1) 平川市地域福祉活動計画のダイジェスト版について
 - (2) 皆さんの地域の現状は、どうなっているのか？
 - (3) 社協が行う小地域福祉活動助成金の活用について
 - ・小学校区地域福祉懇談会での意見一覧（参考資料）
 - ・中学校区ワークショップでの事業案一覧（参考資料）

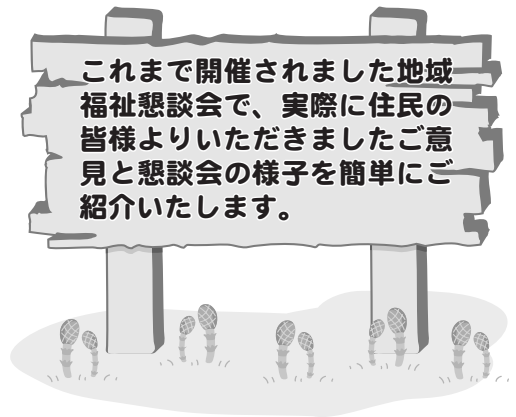
● 日程

No.	町会名	開催年月日	開催場所
1	山の上・高田	平成22年11月 1日(月) 18:00より	侑白戸建設会館
2	西の平	平成22年11月 7日(日) 9:00より	西の平公民館
3	平田森	平成22年11月12日(金) 18:30より	平田森多目的集会所
4	下町・仲町	平成22年11月14日(日) 13:00より	平川市碓ヶ関公民館
5	光城	平成22年11月14日(日) 18:00より	光城コミュニティセンター
6	上二	平成22年11月19日(金) 18:00より	平川市碓ヶ関公民館
7	平成町	平成22年11月26日(金) 14:00より	平成町コミュニティセンター
8	大坊	平成22年11月26日(金) 18:00より	大坊コミュニティセンター
9	苗生松	平成22年11月28日(日) 13:30より	苗生松多目的集会所
10	十六夜・川向	平成22年11月30日(火) 18:00より	碓ヶ関地域福祉センター
11	新屋	平成22年12月 5日(日) 13:00より	新屋多目的集会所
12	李平	平成22年12月10日(金) 18:30より	李平地区集落改善センター
13	南田中	平成22年12月12日(日) 13:00より	平川市東公民館
14	新山	平成22年12月18日(土) 18:00より	新山地区担い手センター
15	蒲田	平成22年12月19日(日) 13:00より	蒲田地区担い手センター
16	南田	平成22年12月22日(水) 18:00より	尾上農村婦人の家
17	三町会	平成23年 1月10日(月) 18:00より	三町会農業研修センター
18	大光寺	平成23年 1月16日(日) 10:00より	大光寺コミュニティセンター
19	館田	平成23年 1月29日(土) 18:00より	館田地区農業推進拠点施設
20	おかりや	平成23年 3月 6日(日) 9:30より	奈良清蔵町会長宅

● 地域福祉懇談会の様子（開催済み町会）



合併後は、市のイベント
などへの参加割当が減って
参加したくても
参加できなくなった。



近所に持ち主のない
空き家が数軒あります。
何かに活用できない
ものが。



社協の名前は聞か、
何をしている団体なのか
よくわからなかった。
懇談会に参加して
なんとなく
わかった。



災害時の対応について
避難の仕方、情報の伝達、
連絡体制について住民は
よく理解していない。
周知が必要。





子供110番の家が
あるように、
認知症110番の家のような
ものも整備できない
ものか。

バスの回数が減ったり、
交通手段に困っている。
地域によっては自主的な
移送ボランティアがある
と聞いているが…



町会としての課題と
今後の方向性を認識できる
良い機会となりました。
継続して開催することを
望みます。



年齢を重ねた人の意見も
大切だが、若い人の意見を
聞きたかった。社協のPR
としても一番弱い部分
なのでは…



地域福祉懇談会に関するお問い合わせは、
下記担当課まで
社会福祉法人 平川市社会福祉協議会
地域福祉課 TEL 44-5937



ボランティア コーナー



平成22年9月18日（土）に平川市社会福祉協議会と平川市ボランティア連絡協議会が共催で平川市ボランティア講座を開催いたしました。本講座の前半は、近年、高齢者を中心に多くの犠牲者をだしている地震・風水害といった自然災害について、住民相互による支え合いや助け合いといった「共助」による地域づくりが求められていることをテーマに青森県社会福祉協議会地域福祉課課長代理の鳴海孝彦氏を講師に招き、「減災への取り組み～災害ボランティアの現場から～」という演題でご講演いただきました。講座の後半では、黒石レクリエーションクラブ会長の工藤茂人氏を講師に招き、参加者自らが地域において実践できるレクリエーションについて、実際に体を動かし体験されました。

講座に参加されました42名の方々が、災害に対する意識とレクリエーション方法をそれぞれの地域に還元し、笑顔と活気にあふれ、共に支え合う地域社会の構築に少しでもお役に立てただけを切に願っております。

平成22年度平川市社会福祉協議会会費実績

平成22年12月1日現在

町会名	世帯数	金 額	町会名	世帯数	金 額	町会名	世帯数	金 額	町会名	世帯数	金 額
大 光 寺	261	260,000円	唐 竹	312	312,000円	平 成	200	200,000円	駅 前	88	89,000円
本 町	361	362,500円	広 船	195	195,000円	南 田	31	31,000円	高 田	46	48,000円
小 和 森	130	130,000円	小 国	40	40,000円	雇用住宅	11	10,500円	山 の 上	41	41,000円
荒 田	54	54,000円	葛 川	40	40,000円	金 屋	245	237,700円	おかりや	20	22,000円
杉 館	101	101,000円	切 明	20	20,000円	南 田 中	321	301,400円	仲 町	32	36,000円
館山・松崎	121	121,000円	平 六	12	12,000円	李 平	137	131,800円	下 町	35	35,000円
苗 生 松	60	60,000円	温 川	5	5,000円	高 木	301	293,400円	上 一	51	51,000円
館 田	185	185,000円	井 戸 沢	17	17,000円	尾 上	202	197,700円	上 二	84	91,000円
松 館	49	49,000円	大 木 平	13	13,000円	新 屋 町	157	161,500円	川 向	49	49,000円
柏 木 町	402	402,000円	一 本 木	20	20,000円	南 田	59	56,200円	三 笠	35	36,000円
大 坊	179	179,000円	尾 崎	316	316,000円	猿 賀	325	323,100円	十 六 夜	139	141,000円
原 田	116	116,000円	新 屋	350	350,000円	中 佐 渡	100	102,000円	古 懸	136	136,000円
岩 館	100	100,000円	平 田 森	121	121,000円	長 田	41	39,400円	久 吉	55	55,000円
石 郷	102	50,000円	町 居	314	297,800円	八 幡 崎	158	166,000円	船 岡	33	33,000円
向 陽	169	112,000円	向 野	20	20,000円	新 山	91	93,000円	湯 の 沢	11	11,000円
三 町 会	110	110,000円	藤 野	102	101,000円	蒲 田	48	48,000円			
沖 館	205	204,000円	西 の 平	80	80,000円	日 沼	147	146,200円			
新 館	100	100,000円	光 城	210	199,800円	みなみの	98	100,300円			
合 計						世 帯 数	8,519世帯	金 額	8,368,300円		

○企業・団体会費 48,000円(各3,000円)

佐藤長尾上店・福島建具店・平川市遺族会・北平商店(有)
青い森信用金庫碓ヶ関支店・長栄堂菓子店・加藤米穀店
平川市連合婦人会・中田新聞販売店・新しや・白戸石油
碓ヶ関地区婦人会・碓ヶ関開発(株)・ヘッチョ仕出し店
碓ヶ関地区更生保護女性会・(有)イカリ食品工業

平成22年度も平川市社会福祉協議会会費納入についてお願いしたところ、市民の皆様並びに各企業・団体より多数のご理解とご賛同をいただき、誠にありがとうございます。

社協会費は、地域福祉の推進を目的とした本会の事業並びに町会や福祉会・福祉部といった小地域福祉活動助成金等へ充当する貴重な財産として、有効に活用させていただきます。

教育支援資金貸付制度のご案内

世帯の中で学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学等に修学する方がいる場合、必要な経費の貸付を行っております。

また、既に在学している子供さんがいて家庭の生活状況が変わった場合は、年度途中で受けても受付を致します。

ただし、他制度優先のため、日本学生支援機構等の貸付制度が受けれない方が対象となります。

詳細について下記の表をご覧ください。

※申込用紙等の書類は平川市社会福祉協議会各事業所にありますのでご相談下さい。

◎教育支援資金

☆修 学 費

対 象 世 帯	低所得世帯
貸 付 限 度	別表 1 による
交 付 方 法	分割交付
据 置 期 間	卒業後 6 カ月以内
償 還 期 間	別表 1 による
貸 付 利 率	無利子
受 付 時 期	・新入学生については、合格決定（推薦入学を含む）時期から受付。 ・中途入学者及び在学中の者は、随時受付。
貸 付 期 間	・新入学生については、入学時期より卒業月まで、在学生等については市町村社協受付月より卒業月までを貸付期間とする。
貸 付 対 象	・学校教育法に定める学校（高校、高専、短大、大学及び専修学校）に入学する、または、在学している場合。専修学校高等課程は高等学校、専門課程は短期大学の扱いとする。
使 途 目 的	修学に必要な経費 ・授業料、学校納入諸経費、交通費 ・自宅外の場合は寮費、アパート代、生活費等
必要な添付書類	・新入学生の場合は、合格通知書の写し ・中途入学者または在学者については、在学証明書 ・教育支援資金使途明細書

※母子寡婦世帯については、母子寡婦福祉資金で同様の貸付を行っております。（問い合わせ先 平川市福祉課こども家庭係）

◎就学仕度費

入学に際し入学金等学校に納入する経費や制服、体育着、教科書等で一括して購入するものが対象となります。

対 象 世 帯	低所得世帯
貸 付 限 度	500,000円以内
交 付 方 法	一括交付

別表 1 教育支援資金貸付限度額及び償還期限

学校種別	金 額 ・ 償 還 期 限
高 等 学 校	貸 付 限 度 額 月35,000円以内
	償 還 期 限 6 年以内
高等専門学校	貸 付 限 度 額 月60,000円以内
	償 還 期 限 8 年以内
短 期 大 学	貸 付 限 度 額 月60,000円以内
	償 還 期 限 8 年以内
大 学	貸 付 限 度 額 月65,000円以内
	償 還 期 限 10年以内

※高等学校には、専修学校高等課程を、短期大学には、専修学校専門課程を含む。

本貸付制度の詳細につきましては、下記担当課まで御相談下さい。 社会福祉法人 平川市社会福祉協議会 福祉サービス課 TEL 44-5937

善意

平成22年7月～12月までに善意を寄せられた方々に厚くお礼申し上げます。

(受付順・敬称略)

<個人>

米村友志（常盤小学校1年） 3,000円

匿名 1,000円

<団体>

碓ヶ関地区婦人会たけのこマラソン益金 10,543円

平川市商工会チャリティ 41,211円

中田新聞販売店 5,000円

尾上中学校生徒会 20,000円

<物品寄贈>

NPO法人津軽平野と大地の会 米・野菜・果物ほか

船水伊佐子（黒石市） フェイスタオル73枚

大里孝次郎（南田中） 紙おむつ6パック

全国郵便局長会青森中部地区婦人会 フェイスタオル500枚

駒井昭雄（金屋） 歩行器1台

トヨタカローラ青森㈱介護福祉用具相談室 広辞苑3冊

鈴木一二三（下町） 食器200点書籍40点

水野由美子（北海道） 車イス1台

入れ歯回収BOX設置のお知らせ

平川市社会福祉協議会では、日本入れ歯リサイクル協会が行う不要入れ歯の回収リサイクル事業に協力しております。

この事業は、不要となった古い入れ歯を回収し、その入れ歯に使われている貴金属を精製することにより得た益金を日本ユニセフ協会及び福祉事業団体に寄付することで、社会貢献とエコロジーを図ることを目的とした事業です。

市民の皆様、不要となった入れ歯がございましたら、不要入れ歯の寄付に御協力ください。

●寄付の仕方

①汚れを落としてから、熱湯をかけたり入れ歯洗浄剤で消毒してください。

②差し支えなければ、備え付けの用紙に住所、名前を記入して投函していただければ、後日礼状を送付いたします。

③備え付けのビニール袋に入れ歯と②の用紙を入れ、回収BOXに投函ください。

※ 回収できる入れ歯は、金属の使われているものに限定いたします。

※ 入れ歯以外にも差し歯や冠ブリッジ・インレー等もお願いいたします。

●不要入れ歯回収BOX設置箇所

・平川市役所 本庁舎窓口

・平川市社会福祉協議会

事務室窓口（平川市健康センター内）

尾上事業所窓口（尾上地域福祉センター内）

碓ヶ関事業所窓口（碓ヶ関地域福祉センター内）



問い合わせ先 平川市社会福祉協議会 TEL44-5937 fax44-4574